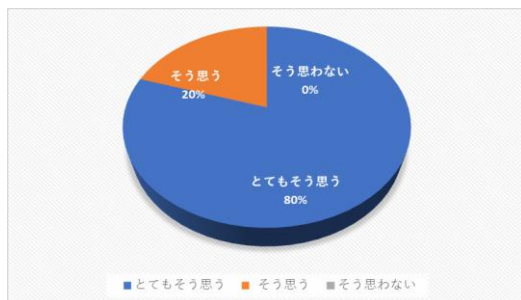


1 職員アンケートより

①児童にわかりやすい授業を心がけている。

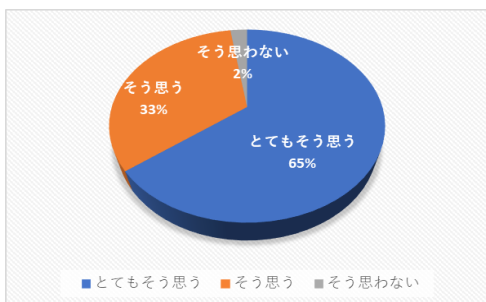


・わかりやすい授業に向けての取り組み

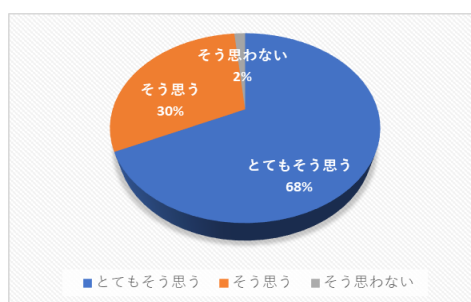
- ①板書の工夫
- ②課題やめあてを明確にする。
- ③ペアやグループで考えたり話し合ったりする場面の設定と工夫
- ④一人一人の困り感に寄り添った学習プリントや学習場面を作る。

2 児童アンケートより

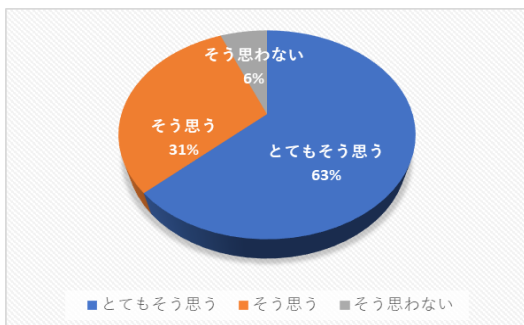
①授業はわかりやすいですか。



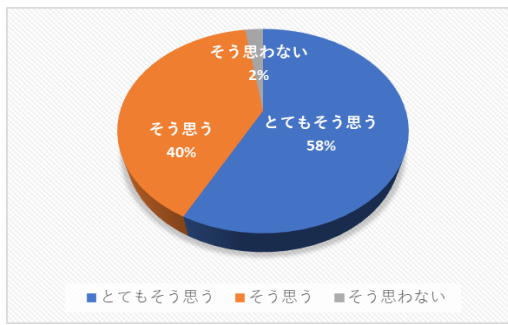
②板書はわかりやすいですか。



③授業で何を考えるのか(課題やめあて)がはっきりしていますか。



④友達やグループで話し合って答えを出す場面がありますか。



【考察】

- ・授業がわかりやすいと感じている児童の割合が高い。児童一人一人の困り感に寄り添った授業を考えたり、1時間の授業の目当てを示す授業を職員一人一人が心がけているからではないか。
- ・課題がわかりにくいと感じている児童が6%、グループや友達と考えを伝え合いたいと感じている児童が2%いることを大事に受け止め、改善を考えていきたい。

【今後への取り組み】

- ・児童が考えを伝え合ったり話し合ったりする中で学習への理解や満足感を高めていくような、友達やグループ活動を、学習内容に応じて取り入れていく。
- ・視覚支援や体験活動を取り入れて、児童が目当てに向かって学習しやすいように考えていく。